

## ケーススタディ：アシックス

### 資料編 《企業理念》

「世界の人々の健康で幸せな生活が実現できる製品やサービスを提供することが使命」と掲げる企業と聞いて皆さんはどのような会社をイメージしますか？医療機器や福祉関係の企業を連想しそうですね。これは、アシックスの企業 HP に掲載されている代表取締役社長・尾山さんの言葉です。

アシックスグループは、スポーツによる青少年の育成を通じて社会の発展に貢献したいという思いから始まり、60年以上にわたり、社会環境の変化を捉えながら、独自の製品とサービスを提供し、今日では、フットウエアとアパレル事業を中心に50以上の国と地域に拠点を置くまでに成長した企業です。

社名の由来は「もし神に祈るならば、健全な身体に健全な精神があれかしと祈るべきだ（Anima Sana in Corpore Sano）」という帝政ローマ時代の風刺作家ユベナリスの言葉です。



アシックスのHPには「アシックス行動規範」として次のような文章が掲載されています。

「我々の事業は、信頼と名声に立脚しています。それは、消費者が我々の製品についてどのように考えているか、株主が我々を投資先としてどのように捉えているかに影響を与えます。一握りの人たちあるいはたった一人の非倫理的行動によって、以前は勢力のあった会社が確固たる名声を永久に汚してしまった数多くの例があります。名声を築くには何年もかかりますが、名声を失うのはほんの一瞬です。

我々が最高水準のビジネスを行い、我々が直接的に関係する会社または第三者を通じて活動するあらゆる国で、全ての適用法を確実に遵守して実務を行うのが、我々のポリシーであり、信念です。

誠実に行動することは、単にアシックスのイメージおよび名声を高めるだけでなく、法的問題を回避することにもなります。我々全員が誇りを持って仕事をする場所を維持することにもなります。我々一人一人が、何が正しい行動かを知ることにもなります。これは、正直に行動し、我々の経営理念と完全に一致して、互いに、また、我々の取引先、パートナーおよび消費者に、公正に、敬意と尊厳をもって接することを意味します。」

利益を追求するだけでなく、商業を学ぶ私たちがよく耳にする「遵法精神」「倫理」「信頼」を大切にしたいという思いが込められた内容となっています。